

特別指導 (第二部)	大東亞經濟政策 特別指導(第三部)	大東亞經濟史 特別指導(第三部)	植民政策 特別指導(第一部)	特別指導(第二部)	吳民族統治 特別指導(第二部)	大東亞建設史 特別指導(第三部)	大東亞史 特別指導(第二部)
一六一	四六五	二六六	六一	六	六五	三五 五五	一六三
一七	一五	一四	一七	六	一	一五	一九
鍊成官た	鍊成官よ	鍊成官か	鍊成官わ	鍊成官を	鍊成官る	鍊成官ぬ	鍊成官り
		第三部長事務擔任		庶務主任事務擔任	第二部長事務擔任		

研究部	研究部	研究部	熱帯衛生 特別指導 (第三部)	南方文化 特別指導 (第二部)	南方民族 行政	華南文 化	大東亞地 理學 特別指導 (第三部)	南方 特別指導 (第一部)
			一 六一	六 五 六	七 九	一 一 五	六 六 五	一 六
			一 七	一 七	一 六	一 六	一 七	一 七
錬成官	錬成官	錬成官	錬成官	錬成官	錬成官	錬成官	錬成官	錬成官
あ	う	む	ら	な	ね	わ	そ	れ

特別指導 （土木建築） 一六〇	特別指導 （商業） 一六〇	特別指導 （鐵工） 一六〇	實務訓練 （水産） 一〇	勸勞作 實務訓練 （農業林） 六四	マ レ ー 語 一九	勸勞作 業 一六	特別指導 實務訓練 （農林） （第三部） 四六	武 道 一八	武 體 道 録 一四四
一六	一六	一六	一〇	一〇	一九	一六	一〇	一八	一八
録成官補	録成官補	録成官補	録成官補	録成官補	録成官補	録成官補	録成官補	録成官補	録成官補
又	リ	子	卜	へ	水	二	ハ	口	イ
			舎監擔任	舎監擔任			舎監擔任		

計	特別講義	科學技術政策	南方宗教	マレー語	馬術	自動車訓練	國防
	一七	五	一一	一九	一一	一一	一一
五四八	一七	五	一一	一九	一一	一一	一一
	講兼任 鍊成官及 師	講 師	講 師	講 師	講 師	講 師	講 師

五 主事、庶務ニ關係スル鍊成官、理事官及屬ノ設置ヲ必要トスル理由

(一) 本院ハ第一第二第三及研究ノ四部ニ分レ其ノ機構相當大ナルノミナラズ各部夫々鍊成ノ對象ヲ異ニシ其ノ方法亦同一ナラサルモノアリ、而モ亦獨リ書間院囑舎ニ於テノミナラズ寮舎ニ在リテモ常時指導訓練ヲ行フコトヲ要シ鍊成内容頗ル廣汎多岐ニ亘ルヲ以テ總長ヲ補佐シ各部ノ連絡統一ニ關スル事務ヲ掌ラシムル爲主事ヲ置クノ必要アリ

(二) 本院事務ハ右記スカ如ク鍊成内容ノ廣汎多岐ナルカ爲頗ル繁劇ナルモノアルノミナラズ一面亦部生ノ募集及入學、修了後南方ヘノ就職及連絡指導等ノ爲甚ダ繁雜ナルモノアルヲ以テ人事、庶務及企畫ニ關スル事務ハ鍊成ヲ擔當スル旁ラ庶務ニ任ズベキ鍊成官一名ヲシテ之ヲ掌理セシメ、會計ニ關スル事務ハ特ニ本院豫算經理ノ複雑繁鎖ナルモノアルニ鑑ミ理事官ヲ設置シテ會計ニ當ラシムルト共ニ庶

務録成官補佐ノ任務ヲ行ハシメントス
 曰 本院ノ事務ヲ處理スルカ爲少クトモ屬六名ヲ置クノ要アリ即チ各
 課分掌ノ事務ヲ處理スルニハ左ノ通屬ヲ配置スルコトヲ必要トス

課名	人員
人事課	一
庶務課	二
會計課	三
計	六

六、部生數、組數（昭和十七年度豫定）

部別	第一部	第二部	第三部	計
一回部生數	五〇	一〇〇	二〇〇	三五〇
組數	二	三	六	一一一
年度内鍊成回数	三	二	一	六
總年度内鍊成數	一五〇	二〇〇	二〇〇	五五〇

極秘

委員會

委員長

大東亞要員鍊成協議會役員候補者（試案）

一七一九二六

大東亞大臣

法制局第一部長

企畫院次長

情報局次長

大藏省總務局長

陸軍省軍務局長

陸軍省人事局長

海軍省軍務局長

海軍省人事局長

文部省總務局長

農林省總務局長

幹

事

商工省總務局長

厚生省人口局長

大東亞次官

大東亞省總務局長

大東亞省滿洲事務局長

大東亞省支那事務局長

大東亞省南方事務局長

總力部研究所長

興南疎成院長

其他

內閣總務課長

內閣人事課長

法制局書記官

企畫院總務室第一課長

第一部第一課長

情報局第三部第三課長

大藏省總務局課長

陸軍省軍務局軍務課長

陸軍省人事局補任課長

海軍省軍務局第二課長

海軍省人事局第一課長

文部省總務局課長

農林省農政局農政課長

商工省總務局課長

厚生省總務局課長

大東亞省關係各課長
其ノ他

大東亞要員鍊成機關一覽表

名稱

備考

◎南方關係

拓南塾

經營 財團法人日本拓殖協會

塾長 海軍中將 穴戸好信

塾生 定員 四〇〇名（二ヶ年修了）

入塾資格 中等學校卒業程度

場所 東京市

沖繩拓南訓練所

經營 沖繩縣

訓練生 一、〇〇〇名（一ヶ月―三ヶ月修了）

南洋協會

海外高等實務學校ニ於テ實務
施學

海外高等實務學校

入所資格 移民訓練ニシテ一般渡航希望者
場 所 沖繩縣

經 營 南洋協會

南洋實業練習生 一三〇名(三ヶ月修了)
入所資格 中等學校四年修了程度
場 所 東京市

經 營 飯泉孫次郎

生徒 五〇名(一〇〇名(三ヶ月一四ヶ月修了)

滿支派遣者關係モ含ム

入學資格 中等學校卒業程度

場 所 東京市

台灣總督府拓士
訓練道場

八紘學院

海外貿易振興會

經營 財團法人日本青年協會
 訓練生 一〇〇名（約一ヶ月修了）
 入所資格 青年學校卒業程度
 場所 台灣

經營 栗林元二郎
 院長

生徒 一〇〇名（一學年五〇名 二ヶ年修了）
 入學資格 中等學校卒業程度
 場所 札幌市外月寒

經營 海外貿易振興會
 理事長 中村嘉壽

農民講道館

興南學院南方語
學校

訓練生 五〇名
場所 東京市
夏季大學トモ云フベキモノニシテ休暇ヲ利用シ大
學、專門學校學生ヲ訓練ス

經營 橫尾惣三郎

塾生 名()

入塾資格

場所 埼玉縣與野町

經營 海軍少將 匝瑳胤次
總長 一五〇名(一ケ年修了)
生徒

修了)

大阪府南方塾

入學資格 中等學校卒業程度
場所 東京市

經營 大阪府

塾長 大阪府貿易館長

塾生 一八〇名—三〇〇名（一ヶ年修了）

入塾資格 國民學校高等科卒業程度

場所 大阪府貿易館内

南洋學院

（近々設置）

經營 南洋協會

院長 野村 準

生徒 三〇名（三ヶ年修了）

入學資格 中等學校卒業程度

海外同胞中央訓練所

滿鐵附屬經濟研究所

場所 佛印西貢

經營 海外同胞中央會

所長 山田鉄二郎

訓練生 六〇〇名（二ヶ月―六ヶ月修了）

入所資格 中等學校卒業程度

場所 東京市

經營 滿鐵 外務省

所長 大川周明

研究生 四〇名（二ヶ年修了）

入所資格 中等學校四學年修了程度

場所 東京市

大
鵬
寮

幽
顯
塾

松
左
塾

塾 經	場 入塾資格	塾 塾	場 入所資格	寮 寮	寮 寮	經 營
長 營	所 所	生 長	所 所	生 長	長 長	營 營
向井貞利	神奈川縣厚木	二〇名	東京市	三〇名（在學期間中）	大川周明	外務省
	中等學校卒業程度		大學、專門學校在學者			

南方農業開發指導者鍊成會

農業技術員養成所

塾生	三〇名（在學期間中）
入塾資格	大學、專門學校在學生及卒業生
場所	東京市
經營	農業報國聯盟
訓練生	一〇〇名（一ヶ年終了）
入所資格	農業學校卒業程度
場所	長野縣八ツ岳修鍊農場（四ヶ月） 東大田無農場（八ヶ月）
經營	拓務省
所長	未定
養成員	二〇〇名（一ヶ年終了）

大東亞建設者
訓練所

青年文化協會日
本語教育講習所

入所資格 農業學校卒業程度
場所 靜岡縣沼津市外

經營者 松平紹光

訓練生 一〇〇名（二ヶ年終了）
入所資格 國民學校高等科卒業程度
場所 千葉縣印幡郡遠山村

經營者 青年文化協會
會長 八田嘉明
生徒 五〇名（二ヶ月終了）
入所資格 師範學校、大學、專門學校卒業者
場所 東京市

因利文化學院

場	入學資格	生	院	經
所	大學、專門學校卒業程度	徒	長	營
東京市麻布區廣尾町		一五名（一ヶ年終了）	山名義鶴	國際佛教協會

◎滿洲關係

滿洲開拓青少年
義勇軍內原訓練
所

經營 滿洲移住協會
定員 一般訓練生 八八四八名

特技 三五二名
基幹 一〇〇〇名

滿洲開拓幹部訓

練所

經營 滿洲移住協會
定員 四六二名（九ヶ月終了）

各府縣開拓民訓
練所

一般開拓民及女子開拓民ニ付各府縣ニ於テ實施ス

第一拓殖訓練所

所長 盛岡高等農林學校長
訓練生 三〇名（一ヶ年間）

第三拓殖訓練所

所長 三重高等農林學校長

訓練生 三〇名（一ヶ年間）

第三拓殖訓練所

所長 宮崎高等農林學校長

訓練生 四〇名（一ヶ年間）

經營 文部省

入所資格 中等學校卒業程度

場所 各學校内

前記三訓練所共

日滿鑛工技術員

經營 日滿鑛工技術員協會

養成所

養成員 三〇〇〇名（三ヶ月終了）

入所資格 國民學校卒業程度

場所 内原訓練所及秋田、京都三ヶ所ニ於テ
行フ

協和會中央鍊成

經營 滿洲帝國協和會

所

皇都興亞塾

滿洲興亞塾

訓練生 一〇〇名（五月一六月修了）

入所資格 協和會職員

場所 滿洲國

經營 大亞細亞建設社

塾長 笠木良明

滿、蒙地方に百ヶ所位あり、塾生トセ
ズ開拓從事者ヲテ精神訓練ヲナス

經營 滿洲國及各省

前項ト同一ノ系統ノモノナリ

◎ 支那關係

興亞鍊成所

興亞同盟

新民會中央訓練所

經營 興亞院

所長 陸軍中將 及川源七

鍊成員 六〇名（十三ヶ月終了）

入所資格 專門學校卒業程度

場所 東京市

創立準備中ノモノ

經營 新民會

所長 陸軍中將 小泉喬治

訓練生 一、二〇〇名（短期二ヶ月、長期六ヶ月終了）

靖 亞 寮
(蒙 疆 向 學 生)

入所資格 大學、專門學校卒業程度
場 所 北京西城

經 營
寮 長 森 憲 三

寮 生 二〇名 (在學期間中)
入寮資格 大學、專門學校在學者
場 所 東京市

濟

東亞第一號

案起 昭和十七年十一月二十四日

裁可 昭和 年 月 日 施行 昭和 年 月 日

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

(佐藤)

案 (一)

昭和十七年十一月二十五日

內閣書記官長

法制局長官

賞勳局總裁

企畫院總裁

統計局長

情報局總裁

技術院總裁

特許局長官

中央航空研究所長

樞密院書記官長

行政裁判所長官

貴衆兩院書記官長

宛（各通）

書類取扱方ノ件

標記ノ件ニ關シ別紙ノ通大東亞大臣ヨリ申越之有候條御了知相成
度命ニ依リ移牒ニ及ビ候

案（二）

（白井納）

昭和十七年十一月二十五日

内閣官房總務課長

内閣官房人事會計兩課長

内閣恩給、印刷、東北、紀元

二千六百年祝典事務局各局長

總力戰研究所長

宛（各通）

案（一）ニ同ジ

大日本帝國政府

官文第四七號

昭和十七年十一月十九日

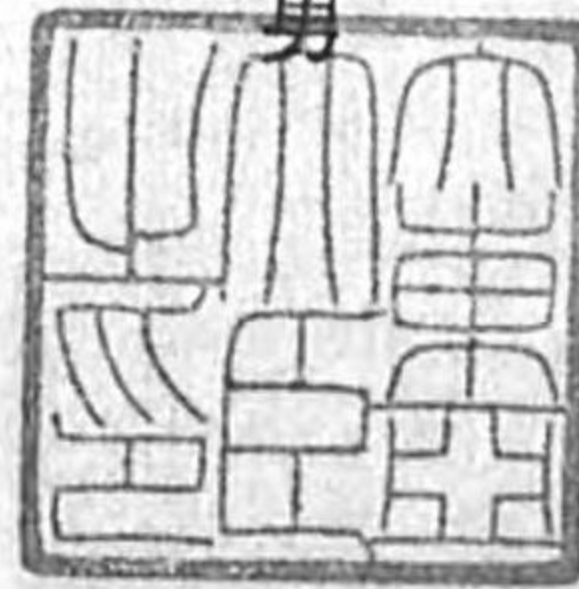
大東亞大臣 青木一男

內閣總理大臣 東條英機 殿

書類取扱方ノ件

今般大東亞省設置相成タルニ付テハ爾今貴廳ヨリ大東亞省所管地域ノ
在外公館、關東局及南洋廳ニ對シ交渉ヲ要スル事項ニ付テハ法令ニ別
段ノ定アル場合ノ外總テ當省ニ御照會相成様致度此段申進ス

東亞甲



九



内閣法三、附一

東亞第一〇號

案起

昭和十七年十二月九日

閣議決定

昭和十七年十二月九日

施行

昭和十七年十二月九日

指合

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

外務大臣

田

海軍大臣

小

商工大臣

大東亞大臣

吉

内務大臣

田

司法大臣

小

遞信大臣

吉

陸軍大臣



大藏大臣

興

文部大臣

田

鐵道大臣

吉

農林大臣

陸軍大臣

田

農林大臣

田

厚生大臣

吉

別紙大東亞大臣請議

特殊財産處理委員會設置

二 閣下此件委員會議設置
右閣議案供又自語

指令案

特殊財產處理委員會設置之關
及八件請議一通

內閣總理大臣

大藏大臣

外務大臣

陸軍大臣

海軍大臣

司法大臣

文部大臣

昭和十一年十月一日

昭和十一年十月一日

昭和十一年十月一日

昭和十一年十月一日

總總第一三五號

特殊財産處理委員會設置ニ關スル件

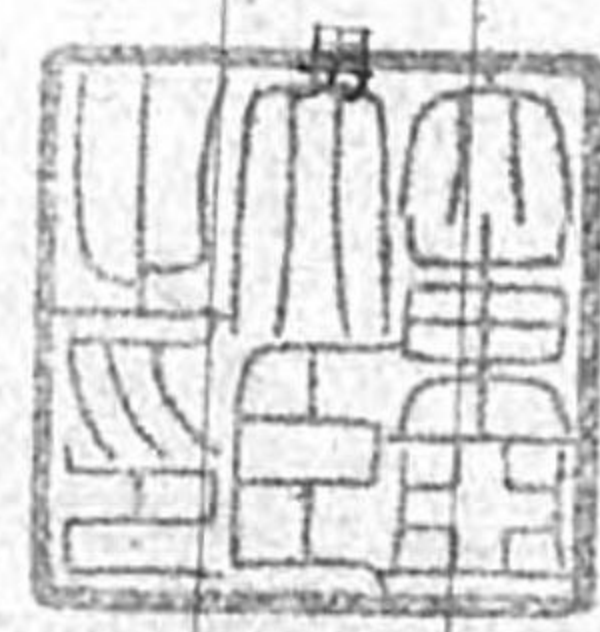
帝國ノ作戰地域内ニ於ケル敵國、敵國人及敵國系法人ニ屬スル財産
（戰利品及捕獲審檢令第二十八條ニ依リ國ノ所得トナリタル物件ニ
シテ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ留保スルモノヲ除ク）竝ニ特殊財産ノ
處理運營ニ關スル重要事項ヲ調査審議スル爲大東亞省ニ特殊財産處
理委員會ヲ設置セントス
右閣議ヲ請フ

昭和十七年十二月八日

主任 總務局杉原書記官

大東亞大臣 青木一男

內閣總理大臣 梶條英機 殿



大東亞省

上奏書用紙

規格-B4 (東東3,195)

IMT 671

212

極利

特殊財産處理委員會設置ニ關スル件

昭和十七年十二月九日
閣議決定〔案〕

帝國ノ作戰地域内ニ於ケル敵國・敵國人及敵國系法人ニ屬スル財産
（戦利品及捕獲兵器）令第二十八條ニ依リ國ノ所得トナリタル物件ニ
シテ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ留保スルモノヲ除ク）並ニ特殊財産ノ
處理運営ニ關スル重要事項ヲ調査整理スル爲別紙規程ニ依ル特殊財
産處理委員會ヲ設置ス

備考

大東亞省現地檢師ニモ必要ニ應シ特殊財産處理委員會ニ準スル

委員會ヲ設置ス

本委員會ノ議ヲ經タル事項ニシテ特ニ重要ナルモノハ閣議決定ヲ經ルモノトス

特殊財産處理委員會規程（案）

第一條 帝國ノ作戰地域内ニ於ケル敵國、敵國人及敵國系法人ニ屬スル財産（戦利品及捕獲兵器等）令第二十八條ニ依リ國ノ所得トナリタル物件ニシテ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管係スルモノヲ除ク一並ニ特殊財産ノ處理運管ニ就スル重要事項ヲ調査審議スル爲大東亞省ニ特殊財産處理委員會ヲ置ク

第二條 委員會ハ會長及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス
臨時必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ大東亞大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 委員及臨時委員ハ各該高等官ノ中ヨリ大東亞大臣之ヲ指名又ハ委嘱ス

第五條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長專故アルトキハ大東亞大臣ノ指名シタル委員ハ其ノ事務ヲ代
理ス

第六條 大東亞大臣必要アリト認ムルトキハ關係各高等官其ノ他
適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳陳セシムルコトヲ得

第七條 委員會ニ幹事長及幹事ヲ置ク

臨時必要アルトキハ臨時幹事ヲ置クニトヲ得

幹事長ハ大東亞省總務局長ヲ以テ之ニ充ツ會長ノ指揮ヲ承ケ委員
會ノ事務ヲ處理ス

幹事及臨時幹事ハ關係各高等官ノ中ヨリハ大東亞大臣之ヲ指揮
又ハ委託スル上司ノ指揮ヲ承ケ委員會ノ事務ヲ處理ス

第八條 委員會ニ書記ヲ置ク大東西部内判任官ノ中ヨリ大東亞大臣
之ヲ推命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第九條 委員會ノ設置其ノ他委員會ニ歸スル事項ハ總テ之ヲ秘密ト
ス

理由書

昭和十七年九月二十八日大本營政府連絡會議決定「帝國軍ノ作戰地域内ニ於ケル敵國及敵國人財産ノ處理運営ニ關スル件」及昭和十七年十一月十七日陸軍部決定「在支敵産處理・運営要領」ニ基キ敵産處理運営ニ關スル諸般手續ヲナス爲大東亞省ニ委員會ノ設置ヲ必要トス



特殊財產處理委員會構成(案)

會長 大東亞大臣

委員 大東亞次官

陸軍次官

海軍次官

外務次官

大藏次官

企業院次長

大東亞省 總務局長

支那事務局長

南方事務局長

幹事
幹事

陸軍省 軍務局長

海軍省 軍務局長

外務省 政務局長

大藏省 外資局長

企畫院 第一部長

大東亞省 總務局長

大東亞省 總務局總務課長

〃 經濟課長

〃 審議室書記官

〃 支那事務局總務課長

〃 理財課長

記
記

五
名

大東亞省 南方專務局政務課長

陸軍省 軍務局軍務課長

海軍省 軍務局第二課長

外務省 政務局第二課長

大藏省 外資局總務課長

企畫院 總務室第一課長

東皇第三十一號

案起 昭和十七年十二月五日

閣議決定 昭和十七年十二月六日施行

昭和十七年十二月六日 通牒

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

由

海軍大臣

五

商工大臣

五

大東亞大臣

表

內務大臣

由

司法大臣

五

遞信大臣

五

鈴木國壽

大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

廣田英吉

表

陸軍大臣

由

農林大臣

由

厚生大臣

由

別紙大東亞大臣請議在支敵性國人

集團生活實施ニ伴フ大東亞省職員増
員ニ関スル件ヲ審査スルニ右ハ別紙一修
正ノ通閣議決定相成然ルベシ

通牒案

昭和十七年十二月十八日

内閣書記官長

大東亞大臣宛

昭和十七年十二月一日支總第八〇號請議

在支敵性國人集團生活實施ニ伴、大東
亞省職員增員ニ関スル件、別紙（修正）、
通閣議決定相成候條命ニ依リ通牒ニ及
ビ候

内

閣

(別紙)

一、職員、増員ハ左ノ限度トスルコト

副領事 八名

書記生 一二名

技手 六名

囑託 二〇名

雇員 三〇名

警部 六名

警部補 一三名

巡查 二五〇名

法制局文書第二二號
昭和十七年十二月四日

支總第八〇號

在支敵性國人集團生活實施ニ伴フ大東亞省

職員増員ニ關スル件

大東亞省ニ於テハ在支敵性國人集團生活實施ノ爲別紙ノ通決定スルノ要アルニ依リ理由書ヲ附シ茲ニ提出ス
右閣議ヲ請フ

昭和十七年十二月一日

大東亞大臣 青木一



内閣總理大臣 東條英機 殿

大東亞省

IMF 671

225

大東亞省

17.12.3
書文

左記ノ通増員支障ナシ

副領事 八名

書記生 一二名

技手 六名

囑託 二名

雇員 三名

警部 六名

警部補 一三名

巡査 二五名

昭和十七年十二月十五日

法制局



在支敵性國人集團生活實施ニ伴フ

大東亞省職員増員ニ關スル件

第一方 針

在支敵性國人中軍ニ於テ抑留セルモノ以外ハ原則トシテ之ヲ集團生活セシム

第二要 領

一、在支敵性國人集團生活ハ大東亞省ノ所管ニ於テ可及的速ニ實施シ軍之ニ協力スルモノトス

二、在支敵性國人集團生活實施ニ關スル事務處理ノ爲左記職員ヲ増員スルモノトス

イ、領 事 二名

ロ、副領事 一名

ハ、書記生 一七名

ニ、技 手 六名

水、囑託 二〇名

へ、職員 三二名

三、集團生活者保護取締ノ爲左記大東亞省警察官ヲ増員スルモノトス

イ、警部 六名

ロ、警部補 一三名

ハ、巡査 二五〇名

十三行罫紙(インク止全葉突詰)

理由

在支敵性國人ノ集團生活ヲ軍協力ノ下ニ大東亞省ノ所管ニ於テ可及的速ニ實施スルノ要アルニ依ル

17 15 14 13

說 明

從來在支敵性國人ニ對シテハ移動ノ制限ヲ加フル等所要ノ措置ヲ講シ來レルカ
其ノ取扱振ハ概シテ寛大ナリシニ付是カ取締強化ノ要アリ既ニ軍ニ於テハ一部
ヲ抑留セルカ尙處分ヲ要スルモノ多數アルヲ以テ是等ノモノハ一律集團生活セ
シムルコトトセリ

然ルニ支那ニハ中立國ノ外交官、領事官等ノ外敵國側ノ利益保護國代表者モ駐
在シ居ルニ付テハ敵國人取扱振如何ハ敏感ニ敵國ニ於ケル邦人ノ待遇ニ影響ス
ヘク多數ノ在敵國同胞ヲ有スル我國トシテハ此ノ點特ニ注意ヲ加フルヲ要ス、
隨ツテ抑留ハ軍當局ニ於テ其ノ必要上ヨリ嚴重ニ之ヲ行フモ集團生活ハ敵國ニ
於ケル邦人ノ取扱振ト睨合セ比較的寛大ニ行フコト適當ナルヘキニ付大東亞省
出先機關之ヲ擔當スルコト然ルヘシ仍ツテ本件實施ニ伴ナフ各般ノ事務ヲ處理
スル爲所要ノ大東亞省職員ノ増員ヲ至急必要トス

尙集團生活開始ノ時期ハ支那カ作戰地域タルニ鑑ミ防禦其ノ他ノ見地ヨリ可及

的速ナルヲ要シ現地ニ於テハ一應十二月中旬ヲ豫定シ居リ又集團生活場所ハ北
支ニ於テハ芝罘及 縣中支ニ於テハ揚州及上海近郊、南支ニ於テハ廣東ヲ豫定
シアリ

十三行罫紙（インク止全葉突詰）

拜啓 陳者豫テ御連絡致置候在支敵性國人集
團生活費施ニ関スル件閣議提出、際大東亞大臣
ヨリ行ハキ説明、原稿別紙、通何事御参考迄
及送付候間御查收相成度候 敬具

昭和十七年十二月三日

堂、脇大東亞省支那事務局総務課長



福田内閣官房總務課長殿

在支敵性國人集團生活實施ニ伴フ大東亞省職員
増員ニ關スル件

説文出明六

從來在支敵性國人ニ對シテハ開戦以來移動ノ制限ヲ加フル等所要ノ
措置ヲ講シ來レルカ其ノ取扱振ハ概シテ寛大ナリシニ付是カ取締強
化ノ要アリ既ニ軍ニ於テハ一部ヲ抑留セルカ尙處分ヲ要スルモノ約
八千三百名アリ是等ノモノハ一律集團生活セシムヘク是カ爲北支ニ
於テハ芝罘及濰縣中支ニ於テハ上海近郊及揚州南支ニ於テハ廣東ニ
收容所ヲ開設ノ上（別表一）可及的速ニ實施ニ着手シ度意嚮ナリ
支那ニハ敵國側ノ利益保護國代表駐在スル等ノ關係上在支敵性國人
取扱振如何ハ敵愾ニ敵國ニ於ケル邦人取扱振ニモ影響スル處アルヲ

以テ抑留ハ軍獨自ノ立場ヨリ嚴重ニ行フモ集團生活ハ右ト區別シ是
 カ實施ニ際シテハ敵國側ノ出方ヲモ睨合スル要アル爲大東亞省出先
 機關擔當スルヲ適當トス
 隨テ本件實施ニ伴フ事務處理ノ爲在支關係公館ニ集團生活事務所ヲ
 開設シ所要職員ノ増員ヲナスコトヲ要スル次第ナリ（職員ノ配置ハ
 別表ニ）
 尙本件實施ノ場合ハ收容所改築増築ニ要スル經費、收容者ノ給養ニ
 要スル經費其ノ他比較的多額ノ費用ヲ要スル所目下不取敢之カ第二
 障備金中ヨリ支出方大藏省ト交渉中ナリ

支那駐在日領事館
 支那駐在日領事館
 支那駐在日領事館

マイナライメト用紙（赤澤納）

（日本標準規格 B4）

IMT 671

589

233

150 TMI

在支敵國人收容人員場所每區分表

管轄廳	收容場所	收容	建物	收容人員	備考
北京大使館事務所				人	
青島總領事館	濰縣		米國「プレスビテリアン」教會	三六〇〇	
芝罘領事館	芝罘		英國地內協會學校		
上海大使館事務所					
上海總領事館					
	浦東		英米煙草倉庫	一〇〇〇	
	開北		厦門大學	一五〇〇	
	龍華		上海大學	三〇〇〇	
南京大使館					
南京總領事館					
			浸禮會病院		

管 轄 官 廳	收容場所	收容内容	建 物	收容人員	備 考
廣東總領事館					
		美漢中學校		1,100	
		慕究理中學校		1,100	
		オリエンタル・ミツシヨソサイテイ		1,100	
計				8,300	

複寫用十四行全葉(明昇合納)

(日本標準規格B,4)

IMT 671

288 235

178 TMI

職員配置表

官名	領事	副領事	書記生	囑託	雇員	警部	警部補	巡查	計
北京		一	一	一					三
青島	一	二	四	二	五	一	三	六〇	七八
芝罘		二	三	一	三	一	二	四〇	五二
上海		二	三	二	六	三	五	九〇	一一一
南京	一	四	五	二	五	一	二	五〇	七〇
廣東			一		一		一	一〇	一三
計	二	一	一七	八	二〇	六	一三	二五〇	三二七

備考

右職員ノ外集團生活所修築ノ爲技手六人、囑託一二人、雇員一二人ヲ増員シ營繕係ニ配置ス

在支敵性國人集團生活關係事務ノ所管ニ關スル件

(昭二七二ニ七支總)

判 決

支那ニ於ケル敵性國人集團生活ハ敵性諸國ニ於ケル邦人取扱振ニ對スル報復トシテ帝國政府ノ行フ所ナルヲ以テ支那ニ於ケル帝國政府機關タル領事官之ヲ所管スルヲ適當トス

理 由

一、敵性諸國家ニ於テハ在留邦人ヲ抑留乃至ハ集團生活セシメ居ル處帝國ハ在支敵性國人ニ關スル限リ一部ヲ軍ニ於テ抑留セルニ過ギズ、尙八千餘名ハ未ダ相當高度ノ自由ヲ享受シ居ル次第ニシテ敵性國在住邦人ニ比シ均衡上甚ダ有利ナル立場ニアル處現地ニ於ケル敵性國人取締強化ノ要急ナルモノアルヲ以テ帝國政府ハ統帥部ト協議ノ上

國際慣例ニ基ク報復ノ舉ニ出デ右敵性國人ヲ集團生活セシメントス
ニ在本邦敵性國人ノ處理ハ內務大臣ノ所管スル所ナルガ支那ニ於テハ
軍事上ノ必要ニ基ク措置ナル場合ニ於テハ軍機關之ヲ所管スルコト
當然ナルモ本件ハ帝國ノ占據地域内ニ於テ帝國政府ノ行フ措置ナル
ヲ以テ現地ニ於ケル帝國政府機關タル領事官ヲシテ處理セシムルコ
ト適當ナリ而シテ通常ノ場合ニ於テ外國領土内ニ於テ帝國政府ガ外
國人ニ對シ行政上ノ措置ニ出ヅル能ハザルハ勿論ナルモ占據地域ノ
特殊性ニ因リ大東亞戰爭勃發以來在支敵國人ニ關スル事務（俘虜抑
留其ノ他軍關係事項ヲ除ク）ハ事實上現地領事官ニ於テ處理シ來レ
ル所ナリ

三、尙明治三十二年法律第七十號領事官ノ職務ニ關スル法律第三條ハ領

事官ガ國際法ニ起因スル慣例ニ從ヒ職務ヲ行フコトヲ得ル旨規定シ
居リ本件集團生活ハ今次戰爭勃發以來始メテ出現セルモノニテ適切
ナル先例存セザルモ一般居留民ヲ對象トスルモノナル事項ノ性質上
悉ク各國共軍機關ヨリモ寧ロ行政機關ヲシテ擔當セシムルコト通例
ナルベシト推測セララル（純然タル占領地ニ於テ實施スル場合ハ占領
地行政機關タル軍政機關之ヲ擔當スベキモ軍政廢止ト共ニ通常行政
機關ニ移管セララルベキモノナルベシ）

秘

在支敵國人收容人員場所每區分表

管轄廳	收容場所	收容建築物	收容人員	備考
北京大使館事務所 青島總領事館 芝罘領事館	芝罘	米國「プレスヒエリアン」教會 英國地內協會學校	二六〇〇	
上海大使館事務所 上海總領事館	浦東 閘北 龍華	英米煙草倉庫 大夏大學 上海大學	一〇〇〇 一五〇〇 二〇〇〇	
南京大使館 南京總領事館		浸禮會病院		

管轄廳	收容場所	收容建築物	收容人員	備考
廣東總領事館		慕究理中學校 美漢中學校 オリエンタル・ミツシヨソサイテイ	1,100	
計			8,300	

内閣

B4 コイプライター用紙

極
秘

職員配置表

官名	領事	副領事	書記生	囑託	雇員	警務部	警備部	計
北京	—	—	—	—	—	—	—	三
青島	—	二	四	二	五	一	三	七八
芝罘	—	—	三	—	三	—	—	五二
上海	—	—	四	二	六	三	五	一一一
南京	—	—	四	二	五	—	—	七〇
廣東	—	—	—	—	—	—	—	一三
計	—	二	一七	—	二〇	六	—	三二七
備考	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 右職員ノ外集團生活所修築ノ爲技手六人、囑託一二人、雇員一二人ヲ増員シ營繕係ニ配置ス

内閣

極秘

職員配置表 (二)

官名	北京		青島		芝罘		上海		南京		廣東	
	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ
總領事			一	一								
領事	五	五	一	一			七	八	二	四	一	三
副領事	六	六	七	二			三	七	三	四	五	四
書記生	一四	二〇	二	七	三	四	三	三	一	一	八	一
囑託員					一	一						
雇員							三					
警部			三	五			八	九	五	五	二	五
警部補			五	五			九	九	六	五	三	六
巡查			二四	二〇	一七	一七	二四	二四	二四	二七	八一	九二
合計			一四	二〇	一七	一七	二四	二四	二四	二七	八一	九二

駐(个)ハ豫算定員(ロ)ハ現在員(ハ)ハ集團生活實施ノ爲ニ要スル新規増員ノ配置ヲ示ス

二青島ニ別ニ共進院コノ移管見理員官一、通譯官一、調査官六、書記官三、書記生

三、維縣ニハ青島ノ分署アリ警部補一名巡査七名駐在ス楊州ニハ南京ノ
派遣所アリ警部補一分巡査七名駐在ス

内閣

秘

在支敵性國人集團生活關係事務ノ所管ニ關スル件

(昭一七二二七支總)

判 決

支那ニ於ケル敵性國人集團生活ハ敵性諸國ニ於ケル邦人取扱振ニ對スル報復トシテ帝國政府ノ行フ所ナルヲ以テ支那ニ於ケル帝國政府機關タル領事官之ヲ所管スルヲ適當トス

理 由

一 敵性諸國家ニ於テハ在留邦人ヲ抑留乃至ハ集團生活セシメ居ル處帝國ハ在支敵性國人ニ關スル限り一部ヲ軍ニ於テ抑留セルニ過ギズ、尙八千餘名ハ未ダ相當高度ノ自由ヲ享受シ居ル次第ニシテ敵性國在住邦人ニ比シ均衡上甚ダ有利ナル立場ニアル處現地ニ於ケル敵性國人取締強化ノ要急ナルモノアルヲ以テ帝國政府ハ統帥部ト協議ノ上

國際慣例ニ基ク報復ノ舉ニ出テ右敵性國人ヲ集團生活セシメントス
ニ在本邦敵性國人ノ處理ハ內務大臣ノ所管スル所ナルガ支那ニ於テハ
軍事上ノ必要ニ基ク措置ナル場合ニ於テハ軍機關之ヲ所管スルコト
當然ナルモ本件ハ帝國ノ占據地域内ニ於テ帝國政府ノ行フ措置ナル
ヲ以テ現地ニ於ケル帝國政府機關タル領事官ヲシテ處理セシムルコ
ト適當ナリ而シテ通常ノ場合ニ於テ外國領土内ニ於テ帝國政府ガ外
國人ニ對シ行政上ノ措置ニ出ヅル能ハザルハ勿論ナルモ占據地域ノ
特殊性ニ因リ大東亞戰爭勃發以來在支敵國人ニ關スル事務（俘虜抑
留其ノ他軍關係事項ヲ除ク）ハ事實上現地領事官ニ於テ處理シ來レ
ル所ナリ

三、尙明治三十二年法律第七十號領事官ノ職務ニ關スル法律第三條ハ領

事官ガ國際法ニ起因スル慣例ニ從ヒ職務ヲ行フコトヲ得ル旨規定シ
居リ本件集團生活ハ今次戰爭勃發以來始メテ出現セルモノニテ適切
ナル先例存セザルモ一般居留民ヲ對象トスルモノナル事項ノ性質上
恐ク各國共軍機關ヨリモ寧ロ行政機關ヲシテ擔當セシムルコト通例
ナルベシト推測セラル（純然タル占領地ニ於テ實施スル場合ハ占領
地行政機關タル軍政機關之ヲ擔當スベキモ軍政廢止ト共ニ通常行政
機關ニ移管セラルベキモノナルベシ）

秘

在支敵國人收容人員場所每區分表

管轄廳	收容場所	收容建築物	收容人員	備考
北京大使館事務所 青島總領事館 芝罘領事館	濰縣 芝罘	米國「プレスヒエリアン」教會 英國地內協會學校	二六〇〇	
上海大使館事務所 上海總領事館	浦東 閘北 龍華	英米煙草倉庫 大夏大學 上海大學 燕京中學校 燕京中學校	一〇〇〇 一五〇〇 二〇〇〇 一〇〇〇	
南京大使館 南京總領事館		浸禮會病院	一〇〇〇	

管轄廳	收容場所	收容建築物	收容人員	備考
廣東總領事館	新聞館	慕究理中學校 美漢中學校	二、一〇〇	
上海總領事館	東北報	オリエンタル・ミツシヨン ソサイテイ	一、〇〇〇	
計			八、三〇〇	
芝罘領事館	芝罘	英領事館附屬會堂		
青島領事館	青島	米開「インレス」エリヤン「」會	二、六〇〇	
北京大對領事館				
管轄廳	收容場所	收容建築物	收容人員	備考

支那領事館人員收容所

内閣

極秘

職員配置表

官名	領事	副領事	書記生	囑託	雇員	警部	警部	巡査	計
北京		一	一	一					三
青島	一	二	四	二	五	一	三	六〇	七八
芝罘		二	三	一	三	一	二	四〇	五二
上海		三	四	二	六	三	五	九〇	一一一
南京	一	三	四	二	五	一	二	五〇	七〇
廣東				一	一			一〇	一三
計		二	一七	八	二〇	六	一三	二五〇	三二七
備考									

備考 右職員ノ外集團生活所修築ノ爲技手六人、囑託一二人、雇員一二人ヲ増員シ營繕係ニ配置ス

内閣

極秘

職員配置表 (二)

官名	北	京	青	島	芝	罘	上	海	南	京	廣	東
總領事	イ	口	イ	口	イ	口	イ	口	イ	口	イ	口
領事	五	五	一	一	一	一	七	三	三	四	一	一
副領事	六	六	七	二	二	三	三	一	四	三	五	四
書記生	一	一	二	七	四	三	三	四	一	四	八	一
嘱託員					一	一		一		一		
警務部			三	五								
警務部補			五	三								
巡査部			五	五								
在			六〇	三	一	一	二	一	一	二	一	一
			一七	一	一							
			二七	一	一							
			四〇	二	一	三	一	三	二	三	二	二
			一四	一	四							
			四四	八	九							
			九〇	五	三							
			四五	九	五							
			二七	六	五							
			五〇	二	一							
			八一	三	二							
			九二	六	五							
			一〇	一								

註(イ)ハ豫算定員(ロ)ハ現在員(ハ)ハ集團生活實施ノ爲ニ要スル新規増員ノ配置ヲ示ス

二、青島ニ別ニ兵醫院ニ移駐セル理事官一、通譯官一、調査官六、書記官三、書記生一三、内閣

二、濰縣ニハ青島ノ分署アリ警部補一名巡察七名駐在ス楊州ニハ南京ノ
派遣所アリ警部補一分巡察七名駐在ス

内

閣

極秘

在支敵性國人集團生活ニ關スル件

(昭和十七年十二月十日)

在支敵性國中現ニ軍ニ於テ抑留セルモノ以外ノモノモ日本側ニ於テ集團生活セシムルコトトシ大東亞省出生機臨ニ於テ之ヲ實施スルコトトス

在支敵性國人集團生活ニ關スル件

說 明

在支敵性國人中現ニ軍ニ於テ抑留セル以外ノモノニ對シテハ移動ノ制限等所要ノ措置ヲ講シ居ルモ概シテ其ノ取扱ハ寬大ナル處支那力作戰地タル關係上敵國人ヲ其ノ儘比較的自由ニ放置シ置クコトハ種々ト弊害ヲ伴フ虞レアルヲ以テ之カ防遏ニ關スル軍側ノ要請ニ應シ且在敵性國在住邦人ノ取扱振ニモ照應シ之ヲ集團生活セシムルコト必要ナリト認メラル然ルニ支那ニハ中立國ノ外交官、領事官等ノ外敵國側ノ利益保護國代表者モ駐在シ居ルニ付テハ敵國人取扱振如何ハ敏感ニ敵國ニ於ケル邦人ノ待遇ニ影響スヘク多數ノ在敵國同胞ヲ有スル我國トシテハ此ノ點特ニ注意ヲ加フルヲ要ス、從ツテ集團生活ハ敵國ニ於ケル邦人ノ取扱振ト睨合ヤ軍側ノ抑留措置ニ併行シ大東亞省出先機關之ヲ擔當スルコト然ルヘシ

在支敵性國人集團生活實施ノ為増員ヲ必要トスル理由

從來大東再有設立以前在支各公館ニ於ケル在留敵性者ノ對スル

取締及保護ハ單ニ是等敵性國人ノ行動ノ制限、生活維持ノ

為ノ相互扶助組織結成ニ對スル斡旋等ノ程交ヲ出ラサリシカ

為多クノ人々ヲ要セサリシ次第ナルカ今則在支敵性者ノ取締

強化、為ハ十余者ヲ集團生活セシムルニトナレリ

然對^{性質大}ナル事業業タル為既存ノ在支公館ノスタッフヲ以テ

シテハ望ム不可能ニシテ最小限度各集團生活所ノ所

長(高等官)及是ヲ補助員(判任官)並ニ監視保

護ノ為ノ警察官、増員ヲ必要ナリ

護ノ為ノ警察官、増員ヲ必要ナリ

典
臣
完

最後決定案

在支敵性國人集團生活實施ニ伴フ増員

巡査	警部	二警部	雇員	嘱託	技手	書記生	一副領事
二五〇名	一三名	六名	三〇名	二〇名	六名	一二名	八名

内閣

BB マイライター用紙

IMT 671

256

職員配置表

所管領事館名	收容所名	收容人員	領事	副領事	書記生	囑託	雇員	警部	警部補	巡查
青島	第一縣	1000		1	1	1	2			20
	第二縣	1000		1	1	1	2	2	4	20
芝罘	芝罘	600		1	1	1	2		1	10
上海	浦東	1000		1	1	1	2			
	閘北	1500		1	1	1	2	3	3	90
	龍華	1000		1	1	1	2			
南京	楊州	500		1	1	1	2			
	楊州	500			1		1	1	2	30
	楊州	500		1	1	1	2			
廣東	廣東	100			1	1			1	10
計		8300	0	8	12	8	18	6	13	230

右、他集團生活所修築及維持、爲技手六人、囑託一二人雇員一二人
ヲ増員ス

東亞
甲第一二號

起
昭和十七年十二月十八日

閣議
決定
昭和十七年十二月八日
施行

昭
和
十
七
年
十
二
月
八
日
指
令

內閣總理大臣



內閣書記官長

內閣書記官



外務大臣

由

海軍大臣

五

商工大臣

五

大東亞大臣

表

內務大臣



司法大臣

五

遞信大臣

五

榮國書



大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

空軍大臣

表

陸軍大臣



農林大臣

五

厚生大臣

五

別紙大東亞大臣請議在支特殊財產

ノ處理運營事務ニ從事セシムル爲大
東亞省職員増員ニ関スル件ヲ審査
スルニ右ハ官吏ニ付テハ別紙記載ノ員數
ニ止メ其他ハ請議ノ通閣議決定
相成然ルベシ

指令案

在支特殊財産ノ處理運營事務ニ從
事セシムル爲大東亞省職員増員ニ関
スル件請議ノ通但シ官吏ニ付テハ別紙
記載ノ員數ニ止ムルコト

(別紙)

本省關係

調查官 二人

事務官 三人

理事官 三人

判任官 一人

在支公館

調查官 五人

書記官 三人

領事 二人

以內

判任官二四人

判任官三一人

判任官五一人

判任官

判任官十人

判任官三人

判任官三人

判任官三人

判任官

判任官

内 閣

(木村納)

昭和十七年十二月十六日

支總第一一

大東亞省

殊財産ノ

依リ理由

右閣議ヲ

大東亞省

昭和十七年十二月十八日 法制局



本省關係

調査官

二人

事務官

三人

理事官

三人

判任官

一人

在支公館

調査官

五人

書記官

三人

領事

三人

判任官

二人

以內

〔備考〕

現地公館、職員ニ多敷ノ缺員アルガ如シ然ルニ人員不足ノ故ヲ以テ本件増員ヲ要スト爲スハ當ラ得ザルモノト認メラルルモ大東亞省ノ強硬ナル主張モアリ本件ハ取敢ズ缺員ナキモノトシテノ所要員數ヲ査定セリ仍テ勅令案審査ノ際ハ右缺員精査ノ上本件査定ノ範圍内ニ於テ適當ノ員數ヲ規定スルコトト致度

内閣總理大臣 東條英機 殿

Grid for writing, consisting of multiple vertical columns within a rectangular border.



上奏書用紙

規格-B4 (東東3,185)

IMT 671

263

支那の支那の支那

在支特殊財産處理運營事務ニ従事スル人員

一、本省關係

總務局	審議室	支那建設局	雇員	判任官	高等官	書記	事務官
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長
局長	理事	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長	支那建設局長

大東亞省

二、在支各館關係

文化課	農林課	交通課	商工課	理財課	總務課	支那事務局	經濟課	總務課
事務官			調査官	事務官	理事書記官		理事事務官	理事事務官
二	一	二	三	四	三		三	三
二	一	二	三	四	三		三	三

タイプライター用複寫用全葉(熱見屋納)

(東京2102) (日本標準規格B4)

IMT 671 265 265 1170 STEEL

大東亞省

北京大使館事務所	北青島支館	漢口總領事館	南京大使館	上海大使館事務所	中支	判任官	高等官
調書	調書	調書	調書	調書	調書	書記	副領事
查記	查記	查記	查記	查記	查記	生	領事
官	官	官	官	官	官	四	事
二	二	一	二	三	二	六	四
書記生	書記生	書記生	書記生	書記生	書記生	判任官	高等官
八	四	四	八	一〇	一	官	官

天津總領事館	青島總領事館	南 支 厦門總領事館	廣東總領事館	厦門總領事館	中 支	漢口總領事館	青島總領事館	天津總領事館
副領	副領	副領	副領	副領	副領	副領	副領	副領
領 查	領 查	領 查	領 查	領 查	領 查	領 查	領 查	領 查
事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事
事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事	事 事
書 記 生	書 記 生	書 記 生	書 記 生	書 記 生	書 記 生	書 記 生	書 記 生	書 記 生
四	四	四	四	四	四	四	四	四

タイプライター用複寫用全葉（熱見屋納）

(東東2102) (日本標準規格 B4)

IMT 671 50S

267 100 PMT

理由

在支敵産ノ調査事務竝ニ曩ニ閣議ニ於テ決定セラレタル方針ニ基キ在
支特殊財産ノ處理運營事務ニ従事セシムル爲大東亞省職員ノ増員ヲナ
ス必要アルニ依ル

大東亞省

案配置改

極秘

在支特殊財産管理事務ニ従事スル人員

一七、一一、一六

本省關係

書記官	一	判任官	二三
調査官	二	職員	二三
事務官	八		
理事官	四		

(内譯)

總務局

高等官

分擔事務

判任官

職員

總務課
理事官
事務官
二

特殊財産處理委員會ノ庶務
省内敵關係事務ノ總括
軍政ニ應ル協助力
他官廳トノ連絡
内外法規關係

三
三

經濟課
事務官
二

大東亞經濟政策ノ見地ヨリ
ノ處理運營

二
二

拓務省

(日本標準規格 B.5) 13. 10. 5つき納

IMT 671

269

タイプライター用紙半裁

	支那事務局	総務課	理財課	商工課	交通課	農林課	文化課	特殊財産課	書記官	理事官
	事務官	事務官	事務官	調査官			事務官	臨時新設		
	政務指導總括	評價關係	金融關係	企業關係			文化施設關係		總括事務	財產會計事務
	二	四	三	二	一	二	二		四	四
	二	四	三	二	一	二	二		四	四

タイプライター用紙半裁

(日本標準規格 B.5) 13. 10. うつき納

IMT. 671

270

拓務省
 内務省
 外務省
 逓信省
 大蔵省
 農商務省
 陸軍省
 海軍省

現地關係

高等官

調査官
書記官
領事
副領事

四 五 七 八

判任官

四 六

一 七 一 二 一 六

(内譯)

中支

高等官

分擔事務

判任官

上海

調査官

評價關係、調査關係

書記官

企業關係、
交通關係、
文化關係

一 二

南京

調査官

評價關係

書記官

政務指導
總括事務

六

漢口

調査官
領事

評價關係、調査關係
處理運營事務

四

拓務省

タイプライター用紙半段

(日本標準規格 B.5) 13.10.5つき納

IMP 671

271

6	5	南	4a	3	2	北
厦	廣	支	青	天	北	支
門	東	支	島	津	京	支
副領事	領事	副領事	領事	領事	書記官	調査官
—	—	—	—	—	二	二
處理運營事務	評價關係、調査關係	處理運營事務	評價關係、調査關係	處理運營事務	政務指導事務	評價關係、調査關係
四	四	四	四	四	八	

拓務省

タイプライター用紙半截

(日本標準規格 B.5) 13. 10. うつき納

IWT 671

272

註 總務局經濟課調査官八名ハ兼任者六名ヲ含ム

課名	書記官	調査官	事務官	技師	通譯官	理事官	屬	技手
總務局	一	二	二	二			一〇九	二
經濟課	一	八	五				一〇九	
支那事務局					一			
總務課		四	三			四	一三五	
司政課	一		三				一三五	
文政課	一	一	二	一			一三五	
理財課		三	三				一三五	
農林課		二	一	一			一三五	
商工課	一		三	一			一三五	
交通課	七	〇	二	六	一	四	六〇四	七
計								

内閣

一、北支地區敵產

(1) 既押收敵產

北 京 三二件

天 津 一四〇件

青 島 五九件

其 他 一三五件

(2) 未押收敵產

企業、個人營業、個人所有及第三國人ノ保有又ハ保管スル敵産ハ
約一千件ニ及ビ見込ナルモ目下ノ處詳細判明セズ

二、中支地區敵産中調査實施中ノモノ

陸海軍共同經營中ノモノ	二件
陸軍直接管理中ノモノ	二六件
海軍直接管理中ノモノ	二件
陸軍直接使用中ノモノ	一二件
海軍直接委託ノモノ	一件
大東亞省監督管理中ノモノ	四一二件
會計監督官派遣中ノモノ	一二件
未處理企業	約三五〇件
個人營業及個人	約五、二〇〇件
第三國人ノ保有スルモノ	約二、〇〇〇件
上海地域以外ニ存在スルモノ	約七〇〇件

内閣

計

約八、七二七件

註 中支地區（主トシテ上海）所在敵産總件數ハ目下ノ處判明シ居

ラズ

三、漢口地區敵産中調査實施中ノモノ

陸軍關係 五七六件

海軍關係 二一件

註 右ノ中主要ナルモノハ煙草工場、打包工場、印製品製造工場、

桐油工場、貯油設備、發電設備等ナリ。尙敵産總件數ハ目下ノ

處判明シ居ラズ

四、南支地區敵産件數

現地ヨリ一部報告アリタルノミニテ調査實施中ノ件數竝ニ敵産總件

數目下ノ處判明セズ

Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to fading and ghosting.

内
州

34 マイブライマー川紙

IMT 671

277

1978 11/13

秘

中支地區ニ於ケル調査完了敵産約八百件ノ内譯

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
紡績關係	化學工業	機械工業	自動車工業	鐵工業	通信關係	造船業	石油業關係	一般倉庫業	碼頭倉庫	公共施設	公共事業	
25	7	8	8	4	6	8	6	14	12	4	7	
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	
建物	社會事業	病院	教會	學校	ホテル	新聞	百貨店	英米トラスト	不動産信託	金融關係	食料品工業	
21	29	25	18	73	4	4	5	2	42	12	15	
計												
三五九件												